

母校 創立百周年記念式典挙行



駒場松桜会会報

第72号
2003年4月1日発行
発行所 財団法人駒場松桜会
〒153-0044 東京都目黒区大橋2-18-1
東京都立駒場高校仰光寮
電話 03-3466-7579
FAX 03-3466-7579
E-mail/ komaba999@komaba.or.jp



学校主催の創立百周年記念式典が平成14年11月2日(土)午前10時より挙行されました。在校生約1000名教職員80名、それに旧職員PTA及び松桜会からの出席者を含めて、約170名の参列でした。多数の参列者を取容するため、会場は学校から比較的近い三軒茶屋にある昭和女子大学見記念講堂でした。クラシックのコンサートなども開催されるホールであり、当日は1、2階はほぼ満席となりました。記念式典に引き続き、同会場で長野パラリンピック金メダリスト、駒44の美季マセソン(旧姓 松江)さんによる記念講演、駒フィル(現役の生徒の部活)の記念演奏、最後は駒フィルの伴奏で校歌斉唱を参列者全員で行いました。また、同日午後1時半から会場を変えて、駒場エミナースで祝賀会が開催されました。

○記念式典等は次の通り(敬称省略)
○記念式典

- ・ 閉式の辞
 - ・ 国歌斉唱
 - ・ 式 辞
 - ・ 挨拶
 - ・ 来賓祝辞
- 東京都立駒場高等学校校長 鳴海 靖 郎
東京都教育庁理事 斉 藤 尚 也
法務大臣(第三回) 森 山 眞 弓
東京都立高等学校協会会長 石 川 和 昭

2003年度 総会・講演会のお知らせ

日 時 5月31日(土)
会 場 都立駒場高等学校 社会科室(2階)
総 会 13時
講演会 13時30分
講 師 観世流能楽師 津田 和忠氏 翁25
「能への誘い」
―世界最古の歌舞劇―
「能」の魅力と心―
【講師略歴】
54年 重要無形文化財保持者故津田康由長男として東京に生まれる。東京芸術大学音楽学部音楽科卒業。25世観世宗家故観世元正師のもとへ内弟子修業入門後、独立。社団法人観世会理事。
88年 文部省より国の重要無形文化財保持者に認定。現在父の後を継ぎ、観世会並びに津田和忠自演能を主催。

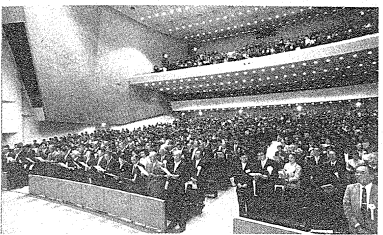
○同窓会会員以外の方も、お誘い合わせの上お気軽にご参加下さい。

- ・ 来賓紹介
 - ・ 閉会の辞
 - 記念講演 美季 マセソン(旧姓松江)
 - 記念演奏 休 憩 (20分)
 - 校歌斉唱 駒場フィルハーモニーオーケストラ
- 司会者 菅家ゆかり(駒28)
(記念講演等の詳細は2面参照)

記念講演 演奏 祝賀会の報告

〈記念講演〉

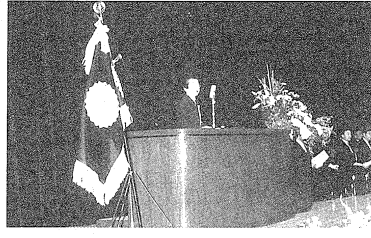
講師の美季マゼソン(旧姓松江、駒場さん)については同窓生の皆さんも名前をご記憶にある方が多いと思います。98年の長野パラリンピックのアイススケージング・スビードレースの金メダリストです。中学時代、駒場高校時代、そして一昨年秋に結婚しているまでのことを爽やかに、涼しい語り口で語ってくださいました。「夢を叶えるには自分を疑ってはいけない」「夢は叶える為にある。なぜ、終始、前向きな姿勢の美季さんの話には在校生の皆さんもきくと勇気づけられたことと思います。」



中学の時は水泳、高校は駒場の保体科希望が普通科に入学。バルセロナオリンピックの銀メダリスト田辺陽子、駒場さんに憧れて柔道部に入部しました。東京学芸大学に進学した93年秋に、マウンテンバイクで自宅から1時間かけての通学中にタンブラーにはねられ車椅子の生活になってしまいました。98年長野パラリンピックでは、金メダル3個、銀メダル1個を獲得しています。この年の3月に大学を卒業、翌年には東京ハーフマソン女子車椅子の部で優勝しています。秋には米国アイノイ州立大学に留学しました。



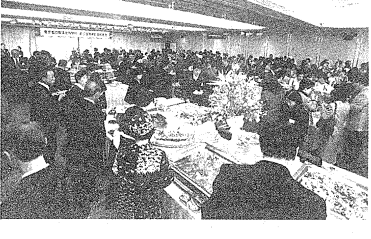
01年11月には長野大会の時に出会ったカナダチームのスレッジホッケー選手マゼソン・マゼソンさんと結婚、カナダのオタワに在住



文化系部活で最大の部員を誇る駒場フイルハーモニオークエストラによる、チャイコフスキーの「スラヴ行進曲」とベートベンの交響曲第5番「運命」より第4楽章が演奏されました。最後にオーケストラの伴奏で参列者一同校歌を斉唱しました。



駒場には、昭和25年から昭和47年までは芸術科があり、その半数は音楽専攻でした。第三世代には音楽と体育に力が注がれていたそうです。廊下には数台のピアノがおかれており、休み時間にはいつもおケラスが聞こえてきていたと現在は普通科と保体科だけの高



記念式典当日の午後、学校から近い駒場エミナースで祝賀会が開催されました。出席者は御司会はテレビ朝日のアナウンサーだった小林一枝(駒場)さん。開会の辞はPTA会長高橋元子(駒場)さん、続いて鳴海校長及び中江千恵松桜会理事長の挨拶がありました。乾杯の音頭は第15代校長細野重陽先生でした。祝宴を飾るものとして、部活のOG&OBによる「沖繩太鼓」の演奏と踊りがありました。太鼓の音にあわせて、第三の大先輩も身振り手振りでお祝いムードを高めてくださいました。

百周年記念 「コチロン大会」開催

百周年行事の幕尾を飾るコチロン大会は、平成14年11月19日(火)午後から、母校の第1アリーナを借用して行われた。

「コチロン」を合言葉に、コチロンを踊り続けた愛好者は、松桜会の集まりや、同期の集まりなどがあり、総数は百数十名にも及んだ。踊る会の秋恒例の合宿は4回行われ、直前の10月に行われた合宿の参加者は50名を数えた。その熱意に、松桜会男性役員及び有志の方が当日のお手伝いを買って出た。12時半の受付開始までに、会場の準備から受付係まで大いに力を発揮された。また学校側の協力も有難く、教頭先生は校内放送で案内いただき、関川事務長も写真撮影を受け持つてくれたり、デジカメ担当も事務室の若手男性に引き受けていただき、多忙中の鳴海校長も来賓として参加くださいました。

来賓席には、元日本女子体育大学教授で、長く伝統舞踊の研究をされて、池間博之氏が、来日中のカナダのジャズリカルダダンスの第一人者であるジャズリカルダのご案内くださった。池間先生とは3年前に日本女子体育大学の舞踏会に招待され、コチロンのデモンストレーションを行った時以来のお付き合いである。又、現在もカトリルを継承して踊っておられる東京女学館の同窓会白菊会からも、理事水本多津子氏をはじめとして、10数名の方がご参加くださいました。

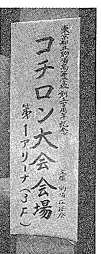
「コチロン」は、平成14年11月19日、駒場高校第1アリーナで11時15分に開幕。大拍手を忘れることはできない。それは百周年記念最後の行事として、駒場松桜会が企画された「コチロン」

中学の時水泳、高校は駒場の保体科希望が普通科に入学。バルセロナオリンピックの銀メダリスト田辺陽子、駒場さんに憧れて柔道部に入部しました。東京学芸大学に進学した93年秋に、マウンテンバイクで自宅から1時間かけての通学中にタンブラーにはねられ車椅子の生活になってしまいました。98年長野パラリンピックでは、金メダル3個、銀メダル1個を獲得しています。この年の3月に大学を卒業、翌年には東京ハーフマソン女子車椅子の部で優勝しています。秋には米国アイノイ州立大学に留学しました。

01年11月には長野大会の時に出会ったカナダチームのスレッジホッケー選手マゼソン・マゼソンさんと結婚、カナダのオタワに在住

文化系部活で最大の部員を誇る駒場フイルハーモニオークエストラによる、チャイコフスキーの「スラヴ行進曲」とベートベンの交響曲第5番「運命」より第4楽章が演奏されました。最後にオーケストラの伴奏で参列者一同校歌を斉唱しました。

駒場には、昭和25年から昭和47年までは芸術科があり、その半数は音楽専攻でした。第三世代には音楽と体育に力が注がれていたそうです。廊下には数台のピアノがおかれており、休み時間にはいつもおケラスが聞こえてきていたと現在は普通科と保体科だけの高



ご指導で、見学だけという方々も巻き込んでゆく。やがて、ミセスジャズも踊りの輪に加わり、華麗にやがて授業の終わった生徒の姿が上の回廊に現れる。その後輩たち、元気に踊る大先輩の元理事、上田光子さん90才、前理事長、小杉明子さん83才が紹介されると、そのお元気なお姿に思わず感嘆の声が上がった。そしてその生徒達も流れるように参加し、踊りの輪は増し、最終回の踊りは10数組にもなっていた。午後4時には会場を生徒ホールにも当日ご参加くださった方々がほとんど参加していただき100名を超える「コチロン」!



私は練習会で昔と躍らせていただき感謝している。コチロンは生涯スポーツとしても価値があり不滅である。

健康に益するところが多く、体育上教育上良いと考えられ、旧制女学校で採り入れられた模様である。初代校長小林益先生は、新時代にふさわしい女性には、知育の他に体力が大切と運動を奨励され、ボールゲームやダンスを体育に採り入れ、校内競技も行われた。ダンスには、カトリル、ランサーズ、ファウストなどがあつたが運動会では在校生と卒業生と一緒に踊るの

健康に益するところが多く、体育上教育上良いと考えられ、旧制女学校で採り入れられた模様である。初代校長小林益先生は、新時代にふさわしい女性には、知育の他に体力が大切と運動を奨励され、ボールゲームやダンスを体育に採り入れ、校内競技も行われた。ダンスには、カトリル、ランサーズ、ファウストなどがあつたが運動会では在校生と卒業生と一緒に踊るの

2003年度 松桜会コンサート

フルートとハーブのタベ

2003年12月6日(出) 14時開演

東京オペラシティ・リサイタルホール
全席自由 3000円

ハーブ演奏 三宅美子(駒23)
フルート演奏 立川和男(駒23)

曲目

サミュエル・ルソー	古いノエルによる田園風交奏曲
フォーレ	シチリアーノ
マックスウェル	引き潮
イギリス民謡	グリーンスリーブス
武満 徹	海へII 他

三宅 美子プロフィール

都立駒場高校在学中より桑島すみれ氏に師事し、ハーブを始め、東京芸術大学音楽科卒業後、ソロ、室内楽、オーケストラ、スタジオレコーディング、テレビなど多方面で活躍。柔らかな美しいハーブの音色とともにライヴにとんだおしゃべりと優雅なステージで多くのファンを魅了している。ハーモニカの純元譲やトロンボーンのプロニミール・スローカーなどとのデュオリサイタルも数多く行っている。

立川 和男プロフィール

都立駒場高校音楽科卒業。東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。1979年翻日本フィルハーモニー交響楽団に入団し、現在主席フルート奏者を務める。国立音楽大学、都立芸術高校、NHK文化センター講師。これまでにフルートを宮本明恭、長谷川博、小泉剛、吉田雅夫、マルセル・モイーズの諸氏に師事。

百周年記念事業としての松桜会の新しい活動の企画実施

駒場松桜会は同窓会として、同窓生のための「活動」、そして財団法人として、社会に貢献する「事業」をすすめることが求められています。特に、毎年新しい会員を迎えており、時代の変化にも対応する「活動」が、同窓会としての存在を左右するところになるのではないかと考えます。10年前の松桜会の会員構成と現在とではかなりの質的変化を企画のベースに出来るのではないかと考えています。

前号で、「公開講座開講のための人材バンク開設」にご協力を呼びかけました。この「活動」は、松桜会が主催する「公開講座」の企画のベースに出来るのではないかと考えています。

かと言つても、より具体的には、110周年を迎える10年後を考えて、今までの通り松桜会が良いのか、ここで立ち止まり、会のあり方を考えることが必要かと思ひます。

必要に迫られた方々の数は少なかったのですが、茶道指導、合唱指導、絵画指導、歌舞伎研究、手紡ぎ、二ツの製作、書道指導、編み物指導、日本近世史、骨董市を業し、江戸東京歴史散策などについての協力がありました。これらすべて「公開講座」とするのではなく、その中には次に述べます活動の一環とするのが良いかと思われ、それは百周年記念行事として実施した「コチコロ」を隔年、ブレ祝祭音楽会とのときの「広い世

との関係がより密になりましたので、この関係を継続するような活動も同窓会として必要なことと考えます。

松桜会の新たな「活動」につきましては、今しばらく検討を重ね、平成15年の後半から出来るものから実施したいと考えています。「意見、ご提案を文書(手紙やFAXなど)でいただければ幸いです。

その最大のものは、45(昭和20)年5月24日の大空襲による校舎焼失で、苦難の間借り生活。一時は危殆に瀕した(秋)とされた中、校舎を求めた悲願がかなない、麻布北口ケニヤから大橋の現在地への移転を果たしたのだ。

百年を回顧しつつ、本校の将来にさらに明るい道が開けますことを願って止みません。どうぞごゆくり、よいひとときをお過ごし下さい。

この特別企画は学校の記念誌の編集委員の先生方と松桜会から応援の3名の委員及び松桜会役員の皆さんの共同作業でした。

祭園 第三・駒場百年展 開催

昨年9月21日・22日の二日間にわたって開催された学園祭は、創立百周年を祝い、「駒場百年展 ANNI VERSARY」を統一スローガンに盛大な文化祭になりました。来校者の数も例年より多かったです。

その中で、学校と松桜会共催で特別企画「目で見る第三・駒場百年」展を実施しました。子供の入学を希望される学校見学の保護者からは質問なども受けました。

学園祭文化委員会総務の生徒が松桜会の府立第三卒業生にインタビューした記事を含め、展示内容を学園祭プログラムに紹介したものを左に転載させていただきます。

今回の特別企画の意図は展示会場に掲示のご挨拶「文」に書かれていたもので、次に紹介させていただきます。

「本日は「目で見る第三・駒場百年」展にお越し頂き、まことに有り難うございました。

百周年特別企画 2F 会議室 目で見る第三・駒場百年

今年2002年は都立駒場高校100周年の年です。そこで今年度の学園祭では松桜会の方々が100周年を記念して、女学校時代からの歴史のある教材や卒業アルバム等の展示をして下さい。本日駒場高校の学園祭にお越し下さった皆様、そして先生方や在校生の皆さんも、この機会に是非駒場高校の歴史に触れてみて下さい。

今回の100周年の記念展示にあたって、私達文化実行委員会総務は松桜会の方々にいくつかの質問をさせていただきます。(Q) 質問・A) 答え)

- Q) 100周年記念の展示には具体的にどのようなものを展示されるのですか?
- A) 女学校時代に使われていた当時の女学校オリジナルの教科書・卒業アルバム・卒業写真・通知表・卒業証書・絵・ガキ・校章などで。
- Q) 女学校時代には、どのような勉強をしていらしたのですか?
- A) 一つの例を言うと現在にはない「作法」という授業がありました。作法とは、日常生活の在り方についての勉強で、基本的なあいさつの仕方や、目上の人と会ったときの話し方などです。(当時の「作法」についての教科書を見せていただきます)
- Q) 当時、自宅学習はどれくらいなっていましたか?
- A) 自宅学習は少なかつたと思います。私達が通っていた昭和10年代は、まだまだ男女の勉強の差が激しい時代だったので、男子は数学や漢文などの勉強で、私達女子は裁縫などの勉強で忙しかつたので自宅学習の時間はほとんど裁縫などで埋められていました。

時間の都合で、質問はわずかでしたが、この女学校時代当時の貴重なお話を伺うことができました。本日100周年記念の展示をご覧いただくことによって、さらに当時の様子が鮮明におわかりいただけたらと思いますので、皆様どうぞ松桜会100周年記念展示にお立ち寄り下さい。

インタビューにご協力下さった松桜会の皆様、本当にありがとうございました。

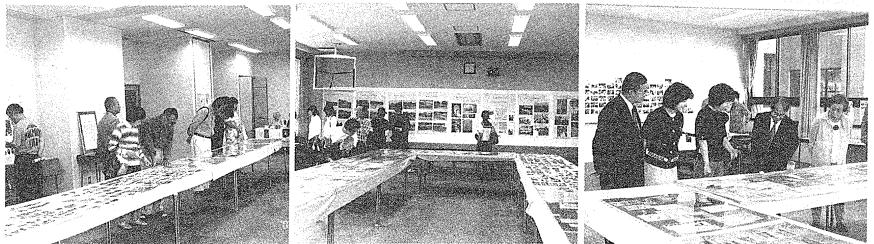
「目で見る第三・駒場百年」展示資料一覧

- 仰光景落成記念絵巻書 学校生活絵巻書 裁縫教科書 音楽会プログラム 婦人画報 15周年記念絵巻書 土光直子様からの絵巻書 学級委員任命書 表彰状 卒業証書 通知簿 校章 卒業写真 アルバム 日食レポート 学園祭プログラム食物ノート アジア大会記事 音楽教科書 昭和12年東京府立第三高等女学校一覽 昭和25年創立50周年沿革史 等

(文化実行委員会総務)



2002年9月 駒場高等学校 駒場松桜会



記念誌のための資料提供者のご芳名

百周年の記念誌編集にあたり、松桜会会員の皆様から「第三・駒場百年」の資料提供の呼びかけにご協力いただき、ありがとうございます。記念誌のためだけでなく、昨年の9月の学園祭では特別企画の「目で見る第三・駒場百年」展で、そのうちの一部を展示させていただきました。ここに「芳名」を掲載し、感謝の意を表します。(敬称略 Dは第三、Kは駒場です)

- | | |
|-------------|-----------|
| 大藏 まき D12 | 土光 直子 D17 |
| 岩崎 幸 D19 | 山本 キク D20 |
| 長島 久子 D25 | 津田 永子 D26 |
| 杉原 きよ D32 | 小杉 明子 D33 |
| 杉田 朝代 D33 | 山中喜美子 D34 |
| 常深百合子 D34 | 村上メイ子 D35 |
| 梅垣 慶子 D36 | 阿部 淳子 D37 |
| 植野 珠枝 D38 | 今野 温子 D38 |
| 長倉 治子 D45 | 江端 豊子 D45 |
| 野間 君枝 D45 | 前田 美子 D45 |
| 中江 千恵 K4 | 八木 啓子 K5 |
| 竹内やよい K7 | 工藤美也子 K9 |
| 小貫 房枝 (旧職員) | |
| 丸 博子 D19 | |
| 石井美千代 D20 | |
| 竹田 寛子 D23 | |
| 和田 住子 D33 | |
| 和井寿美江 D34 | |
| 浮田嘉代子 D36 | |
| 石坂 洋子 D37 | |
| 鈴木 恭 D39 | |
| 北村はるみ D42 | |
| 五代 美子 D43 | |
| 橋田 知之 D46 | |
| 羽島 久 K6 | |
| ゆき K12 | |

百周年記念

ジョイントコンサートを終って

音楽の世界で活躍する同窓生と... 加藤登紀子さん(駒場)と... 加藤登紀子さん(駒場)と...



石川清子

高校生活

駒55-1 山室 大介



気が付けばこの3月に卒業式を迎え、いつの間にか高校生活の3年間が過ぎ去ろうとしています。

駒場生の精神

駒55-6 宮入 さや



気づけば、もう「卒業」を目前に控えていました。振り返ってみると、駒場高校で過ごした3年間は、本当にあつという間でした。

卒業にあたって

駒55-1 藤森 敏弘



今、卒業。自分の気持ち、駒場に... 入学前は正直やる気はあまりありませんでした。

母校創立百周年記念事業募金

賛同者芳名簿

五年間ごちやうど、母校創立百周年募金には、多くの方からのご芳情をいただき、有難うございました。お陰さまで多彩な行事を催すことができました。

Table listing names and amounts of donors for the 100th anniversary fund. Includes names like 特別会員 小林 清男 and 賛同者 大友美奈子.

駒場幼稚園園長交替

退任のこあいさつ 向山 陽子

平成7年9月より7年7月までの間、「うちがわはそれがわよりもおきいんだよ」と台言葉、勤めさせて頂き、園舎、園庭の改修を重ね、園児数も64名になり、内容も他方面から評価して頂けるようになった。私の役目もここまでと退任を決定致しました。



向山 陽子

暖かいご支援、ありがとうございました。今後とも、駒場幼稚園の発展を心より祈っております。

駒場ファミリィ

親子(姉妹・兄弟)二代

- List of family members: 石田喜美(94中)、荒井敏恵(41中)、内田啓子(45中)、坂井正栄(66歳)、坂口洋子(駒9).

駒15百周年記念同期会

我々駒15期生が卒業したのが母校創立60周年記念の、昭和38年で、から卒業後は、40年、昭和58年を経て、おろ、まさに光陰矢の如しとの感じが、あります。3、4年とに開かれる、我々の同期会は、いつも、ホムカミング(母校散策会)同期会パーティー①②二次会の3点セットです。平成14年11月16日は薄曇りで11月として、は、3時からの散策、開始時刻をのばして、いつも、受験生のための学校説明会、校内見学に出できた、駒場以上の父母生徒たちが合流し大混雑となつてしまいました。それでも百周年記念像、卒業記念樹、仰光寮で記念撮影、アリーナなど校舎内も見学できました。後で聞いたところでは我々を発見できず、説明会の集団に入つて見学した

百周年「記念誌」

有料頒布のご案内

母校創立百周年記念事業として、学校の記念誌編集委員会の先生方及び松桜会からの支援編集委員3名のご協力により、記念誌「慕いて集える」が刊行されました。合わせて6月に延期になりました。松桜会会員の皆様は有料頒布いたしますので、同封のハガキで事務局宛にお申し込みください。折り返し郵便振込用紙をお送りいたします。

- 記念誌の概要: B5判、ハードカバー、三三〇〇円(送料込)、頒布額 三三〇〇円(送料込)

同窓生の近況

渋谷区議会議員染谷賢治氏(駒場)
 5)は、昨年9月、都民の生活と文化の向上に寄与した人に贈られる都民功労賞を受賞。

母校生徒の活躍

- 百人一首部
 - ・かるた関東大会
 - ・団体優勝・準優勝
 - ・高文祭中央大会
 - ・個人戦 優勝・準優勝
 - ・東京都文化連盟賞受賞
 - ・藤本 隆史(3年3月)
- 女子バレー
 - ・新人大会 ベスト4(1月)
 - ・新人大大会 ベスト4(1月)
 - ・春の高校バレー 東京地区大会 ベスト4(1月)
 - ・女子バレー
- 男子バスケット
 - ・新人大会 ベスト4(1月)
 - ・新人大大会 ベスト4(1月)
- 保健体育科 根本正幸 教諭
 - ・保健体育教育に功勞のあった職員として、東京都教育委員会から表彰された。(1月)

会員通信

「記念絵はがき」に寄せ
 三女高に通学したものとし、トンネルはとてなつてなつて思いました。(D37 東)

戦火で卒業アルバムを焼いてしまった私には、ほんとは貴重な記念の写真です。62年前の学生生活を思いだし、しばしながめておりました。六木校舎が焼けた駒場に移動と一番大変な時代を過ごしました。勉強が何も出来ませんでした。(D44 西)

百年誌を編集している者としてたいへん新鮮にまたどしりしたものを感しました。(K41-6)

その他

100周年祝賀会(学校主他)で生徒達が神縄太鼓を元氣よく披露してくれ、力強いものを感じました。感謝します。(旧職員)

コチロン大会に参加でき、とても楽しい一日でした。今後とも時間を作り参加したいと思えます。(K131-7)

記念名簿の購入予約及び協賛広告のお願い

松校会では5年毎に会員名簿を発行していますが、今回は母校の創立百周年を記念して、「記念名簿」として発行します。百周年の記念行事や事業を記録した写真特集ページが入ります。

購入希望の方は、同封のがきが事務局宛お申し込みください。折り返し郵便振込用紙をお送りいたします。

- ・頒布額 3,000円(送料込み)
- ・申込締切 6月末日
- ・発行予定 9月下旬

なお、会員の皆様からの協賛広告ご協力をお願いいたします。大きさとその協賛料は次の通りです。事務局宛お問い合わせください。

全ページ	40,000円	半ページ	20,000円
1/3ページ	15,000円	1/4ページ	10,000円
名刺	6,000円		

*業者から名簿の売込み、作成の為の資料の提供依頼などがあるようです。松校会名簿は松校会が独自に作成しておりますので、くれぐれもお間違えのないよう、ご注意下さい。

事務局から

☆会費納入のお願い
 例年どおり会費の納入をお願い致したく、振込用紙を同封しております。松校会には皆様の会費で運営されております。どうぞよろしくお願い致します。どうぞよろしく振込用紙に金額が印字されたっておりますが、まとめてお振込下さっても結構です。年額100円でご振込下さい。

掲示板

- ◇掲載ご希望の方は、幹事等の連絡先を記し、松校会事務局へ郵送かFAXでお知らせ下さい。次号の締め切りは7月15日です。
- ◆駒10回(S33卒)同期会
 2003年5月24日(日) 午後1時~3時
 駒場エミナス(鳳凰の間)
 詳細は各クラス幹事から案内
 参加費振込先「駒場10回生同期会」
 郵便振込口座番号 00110-5-610009
 幹事 中根 宏 ☎042-395-9836
- ◆第14回「合唱曲集を歌う会」
 2003年9月13日(日) 13:00~16:00
 駒場幼稚園(スリッパ持参)
 係 新井 ☎03-5701-0194
 鈴木 ☎03-3414-9723
- ◆「スマイル・ミュージック・サークル」へどうぞ
 ~日本と世界の名曲を楽しく歌いましょう~
 毎月第1土曜日 14:00~16:30(受付13:30)
 八王子市北野市民センター(京王線北野駅北口前)
 会費1,000円 入会金1,000円(歌集2冊進呈)
 講師:佐藤 順子(駒7-4) ☎03-3323-6439
 幹事:吉川 悠一(駒7-6) ☎0426-52-0075
- ◆田代美恵子(駒23)(ヴァイオリン)室内楽のタテマ
 ・2003年4月23日(木) 18:30開演
 ノバホール(つくば市) 自由席3,500円(前売)
 アトリエ・キューブ(駒23-10/小坂佐恵子) ☎029-862-5450
- ・2003年4月25日(金) 19:00
 演奏三重奏&独奏五重奏
 旧東京音楽学校演奏室 自由席4,000円(前売)
 タンネアンディンク音楽事務所(駒23/倉山) ☎03-5384-5772

計報

是非おとも下下さい。
 1)どうぞご参加を
 2)コチロンを踊る会
 3)松校会へのご連絡・入金等の際
 4)お名前とともに、必ず級・ホームをご記入願います。事務局がスムーズに間違いなく行えます。
 5)「名簿記事事項連絡簿」(はがき)をお送りください。
 6)9月末発行予定の百周年記念名簿の資料となるものです。最新の情報をぜひご連絡ください。
 ☆書籍寄贈のお願い
 駒場松校会会員の皆様、書籍を出版される際、駒場高校及び駒場松校会へ各1冊、ご寄贈下さるようお願い致します。
 ☆100周年記念絵はがきの頒布
 新旧校舎(4枚)と仰光祭及び1組 300円(送料含)手渡し250円)でお頒ちします。100周年の記念に